

上瀬谷の思い出

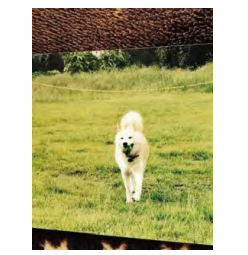
秋・冬編

区役所では、令和3年に旧上瀬谷通信施設のはらっぱと海軍道路の思い出写真・イラストを募集したところ、たくさんのお思い出が寄せられました。第9号で「春」をご紹介しましたので、続けて今回「秋」「冬」の思い出をご紹介します。

- 揚がったねえ
- 愛犬
- 道路で産卵!?
- すみきった空の思い出



子どもが小さかった頃に、凧揚げができる場所があって良かった。こういうことができる場所も残るといいな。古き良き遊びがなくなりませんように。(KAZUMO さん)



楽しく遊んでる愛犬、写真を撮った父も今はいませんが大切な思い出です。(ゆき さん)

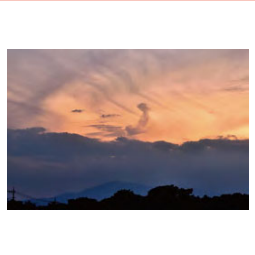


はらっぱ付近を歩いて遭遇。道路で産卵とは・・・瀬谷の自然豊かさを実感した1枚です。(まいちゃんパパ さん)



息子が小さい時、よく遊びに行った思い出のはらっぱです。晴れた日のどこまでも澄みきった気持ちのいい空は今でも覚えています。(けいごたいち さん)

大山の上に巨鳥



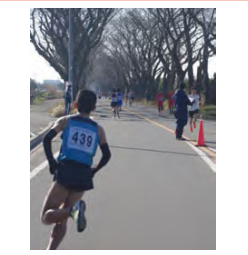
海軍道路は、西に富士山・大山がある夕景の名所。沈み行く太陽を眺めるもよし、何かに似ている雲を探すもよし、日没後のトワイライトもよし、散歩ランニングもよし。(どー さん)

原っぱと花



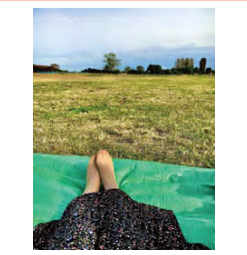
瀬谷の原っぱで一息。(やまやん さん)

瀬谷マラソン



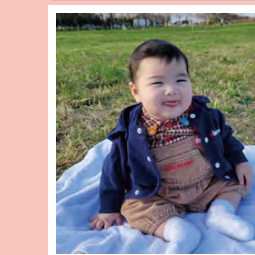
毎年恒例のマラソン大会。日頃の練習成果を披露するべく、海軍道路を一生懸命走る子供たちの姿に元気をもらいました。(瀬谷のペイ輔 さん)

秋のはらっぱでのんびり



(ズッキーニ さん)

赤ちゃんがうまれました!



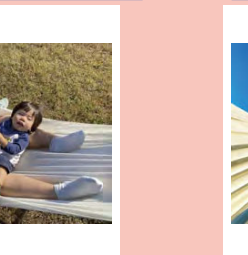
出産前に夫婦二人でお散歩していた道を通り、今度は生後6ヶ月の赤ちゃんとも3人で来ました!初めてのピクニックでしたが、のんびり遊べて楽しい思い出になりました!(せやまる大好きママ さん)

ママと双子の初めてのハンモック



はらっぱの開放で行きました。2人とも楽しそうに走り回っていました。休憩でハンモックに揺られ安心してリラックスしていました。(みか さん)

空はまるで



初めて凧揚げをした場所初めて補助輪なしで自転車に乗った場所私も親も子どもの頃から遊んでいた場所あの時に見上げた空と変わらない。(のすけ さん)



瀬谷区・旧上瀬谷通信施設ニュース

旧上瀬谷通信施設に関する情報を、区民の皆さまにお知らせします。

旧上瀬谷通信施設の約242haという広大な土地は、横浜のみならず首都圏でも貴重であり、農業振興と新たな都市的土地利用による郊外部の新たな活性化拠点の形成を目指しています。

横浜市では、令和9年の2027年国際園芸博覧会開催に向け機運醸成に向けた取組を進めています。また、将来の土地利用については、民有地の地権者の方々や区民の皆さまの意見を踏まえ、令和2年3月に策定した土地利用基本計画に基づき、検討を進めています。

土地区画整理事業の事業計画が決定され、先行工事がはじまります

旧上瀬谷通信施設地区において、農業振興と都市的土地利用を行う土地を集約し、将来必要となる農業基盤や道路などの都市基盤の整備を一体的に行うことを目的に、横浜市施行の土地区画整理事業の事業計画が決定されました。

今後は、米軍施設の撤去など先行工事が令和4年度中にははじまります。

事業の概要

施行地区面積	約248.5ha
施行者	横浜市
公共施設整備	環状4号線等幹線街路
	区画街路
宅地整備	「農業振興地区」「観光・賑わい地区」「物流地区」「公園・防災地区」の整備
事業施行期間	令和4年度～令和20年度(清算期間5年を含む)

■問合せ 都市整備局上瀬谷整備推進課
TEL:045-671-2061/FAX:045-550-4098



■旧上瀬谷通信施設の概要

- 旧上瀬谷通信施設は、平成27年6月に返還された米軍施設の跡地です。
- 戦後約70年間米軍施設として使用されてきたため、長年にわたって自由な土地利用が制限されており、市街化が抑制されてきました。
- 東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接しており、広域での交通利便性が高い地区です。
- 地区内は横浜市内でも有数のまとまった農地があり、周辺には市民の森があるなど豊かな緑が広がっています。

- 返還年月日 平成27年6月30日
- 所在地 瀬谷区 北町、瀬谷町、中屋敷三丁目 旭区 上川井町
- 面積:約242ha
 - 国有地 約110ha (45%)
 - 市有地 約22ha (9%)
 - 民有地 約110ha (45%)



※航空写真に概ねの範囲を明示したイメージ図です。

旧上瀬谷通信施設地区 新たな桜の名所づくりに向けた基本計画

瀬谷区の海軍道路（環状4号線）の桜は、年々老木化が進んでおり、横浜市では2027年国際園芸博覧会や旧上瀬谷通信施設地区の新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代に繋げていくという考えから、この機会に、桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。令和4年8月に基本計画（案）が示され、市民意見募集を踏まえて、令和4年10月に基本計画が策定されました。

瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会では市民意見募集に合わせて、「桜並木の再生と新たな名所について」、「『桜の記憶の継承』と『桜を含む植栽を通じたコミュニティの形成』」、「渋滞対策等」、「安全安心で快適な環境整備と適切な維持管理について」を要望書としてまとめ、横浜市長あてに提出しました。

■問合せ 都市整備局上瀬谷整備推進課
TEL:045-671-2061/FAX:045-550-4098

■基本計画の概要

取組① 桜の再生と新たな名所づくり

- ・海軍道路の桜並木の再生
- ・公園内でのサクラ広場の整備
- ・公園のシンボルとなる桜並木の整備

取組② 桜の記憶の継承

- ・撤去した樹木の活用
- ・既存樹木の移植
- ・接ぎ木による若木の育成

取組③ 桜を含む植栽を通じたコミュニティの形成

- ・地域が主体となったコミュニティ活動
- ・学校などと連携した取組
- ・2027年国際園芸博覧会や将来のまちづくりに向けた市民参加型の取組
- ・観光・賑わい地区や物流地区などの事業者との連携



（仮称）旧上瀬谷通信施設公園の基本計画（案）策定

（仮称）旧上瀬谷通信施設公園については、市民意見募集などを踏まえて令和3年6月に基本計画（原案）が公表されました。原案に対し、瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会では、区民のみなさんへのアンケート調査を行い、横浜市長あてに要望書を提出しました。横浜市では、要望書の内容も踏まえ、令和4年6月に基本計画（案）としてとりまとめ、公表しました。

せやまるから質問



基本計画（案）のポイントとは？

公園区域の北側約20haを「自然と共生しながら、賑わいを創出する公園区域」として、拡張することとしました。これにより、相沢川や和泉川源頭部などの自然環境の一層の保全・創出やレクリエーション等のニーズに対応した施設の充実を図ってきます。また、公園の主な施設の特徴や配置などを示しました。

■問合せ 環境創造局公園緑地整備課 上瀬谷担当
TEL:045-671-4615/FAX:045-671-2724

新たな交通の導入・新たなインターチェンジの設置に向けた検討状況

新たな交通の導入については、瀬谷駅を起点とした公共交通機関として、将来の土地利用に見合う十分な輸送力を確保しながら、整備コストの抑制を図っていく視点で、新たな技術の活用も含め、幅広い検討が進められています。

また、新たなインターチェンジについては、線形や構造、周辺環境への影響などの検討が進められています。

■問合せ 都市整備局上瀬谷交通整備課
TEL:045-671-4607/FAX:045-550-4106

新たな桜の名所づくりについて 要望書の主な内容と回答（概要）

1 桜並木の再生と新たな名所について

【要望】

・新たな桜の名所づくりは平和を祈念して植樹された海軍道路の桜並木のレガシーを継承する点でも意義深い計画であり、実現に向けた事業の推進を要望します。

【回答】

・2027年国際園芸博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして実現に向けてしっかりと取り組みます。

2 「桜の記憶の継承」と「桜を含む植栽を通じたコミュニティの形成」について

【要望】

・市民参加の機会の確保と継続的な支援を、要望します。

【回答】

・地域での植栽など多世代にわたる取組が継続的になるよう地域との連携・支援を行います。

3 渋滞対策等について

【要望】

・周辺の住民の日常生活に支障が生じないように道路等の対策について十分に検討し対応するよう要望します。

【回答】

・環状4号線の拡幅整備や環状4号線を補完する地区内幹線街路を整備し、地区内には補助幹線道路を配置します。

・三ツ境下草柳線、瀬谷地内線の整備や国道16号線の拡幅整備を進めます。

・新たな交通や、東名高速道路と直結する新たなインターチェンジの検討を進めます。

4 安全安心で快適な環境整備と適切な維持管理について

【要望】

・将来にわたり、どの世代にとっても途切れなく、桜の名所として楽しめるような維持管理を検討、実施を要望します。

【回答】

・安全安心で快適な環境整備と適切な維持管理を行い、将来にわたり桜の名所が楽しめるようしくみなどを検討します。

観光・賑わい地区の土地利用について

観光・賑わい地区は、「テーマパークを核とした複合的な集客施設」が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点を形成することとされています。横浜市は、事業実現性について企業と対話をするサウンディング調査を8月に実施しました。その結果複数の企業から様々な提案が出され、高い関心が示されました。

せやまるから質問



サウンディング調査ではどんな意見があったの？

観光・賑わい地区としての土地利用の可能性

・観光・賑わい地区を一体的に活用することで当地区のポテンシャルを高めることが期待できる。

テーマパークのコンセプトについての提案

・日本が世界に誇るジャパンコンテンツと最先端テクノロジーを駆使したテーマパーク

・自然との調和という視点で、日本独自の文化体験を新しい切り口から展開するテーマパーク

瀬谷地区の魅力向上につながる提案

・テーマパーク全体を広域防災拠点として機能させるとともに、自然体験できるよう既存の環境をいかした開発計画とする。

・公園防災地区と連携し、大規模災害時におけるオープンスペースの提供等が検討できる。

・農業振興地区で収穫された農作物等を活用するなど、上瀬谷で生まれる経済効果を地域内で循環させることができる。

■問合せ 都市整備局上瀬谷整備推進課
TEL:045-671-2061/FAX:045-550-4098

瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会の活動

「上瀬谷通信施設」の返還後の跡地利用等について協議し、区民の意見及び要望を関係機関に伝えることを目的として平成27年7月1日に設置されました。当協議会は、瀬谷区の約8割の世帯が加入している自治会町内会の地域ごとの長である全地区連合町内会長12名で組織されています。旧上瀬谷通信施設に関する情報共有や具体的な課題に対する意見交換などを行っています。